

2018 年度

コノテラ通信はコノミヤテラスの日々の出来事や地域の情報をお知らせする通信紙です。その通信に見立て「協働する学生のチカラ版」として活動をご紹介します。

コノテラ通信

協働する学生のチカラ 2018 版



南花台地域を眺める。開発住宅団地周辺には緑豊かで雄大な山並みが広がる。

「南花台地区「丘の生活拠点形成」に向けたまちづくり連携協定」を締結しました！

■三者の連携協定

河内長野市・株式会社コノミヤ・関西大学の三者は、多世代が住み慣れた場所で安心して快適に住み続けられるまち(スマートエイジング・シティ)の形成に向け、相互に連携・協力するため、平成30年12月21日に「南花台地区『丘の生活拠点』形成に向けたまちづくり連携協定」を締結しました。すでに、河内長野市では、南花台地区を周辺地域の生活を補完する「丘の生活拠点」と位置付け、多世代が住み慣れた場所で安心して快適に住み続けられるまち(スマートエイジング・シティ)の形成を目指し、コノミヤテラスを拠点として、関西大学と連携し、まちづくり活動の創出を図っています。今後は、愛着のある魅力的な街並み形成の推進、安心・安全・快適に住み続けられる都市基盤形成の推進、南花台地区の持続性を高める機能導入の推進などに連携して取り組んでいきます。



締結式：左からコノミヤ・芋縄社長、河内長野市・島田市長、関西大学・芝井学長

第1回 近未来技術等社会実装事業 (自動運転) 住民説明会 & 咲く南花台住民集会 が開催されました！

■自動運転って何?どんなことするの?

2月16日に錦秀会看護専門学校にて、「第1回近未来技術等社会実装事業(自動運転)住民説明会&咲く南花台住民集会」が開催されました。会場には100人近い方が来られ満席の状態、期待と注目の高さが伺えました。咲く南花台の取り組みの説明後、自動運転について大阪府・河内長野市の担当の方からお話がありました。いきなり自動運転(完全無人)の車を走らせるには、法律の問題や仕組みなど様々なハードルがあります。また、南花台では、「多世代の住民にとって生活の質(QOL)を高める自動運転」を行うために、地域の方の意見を聞き、取り組みに反映させることを考えています。そのため2019年度は「南花台で自動運転がどのように機能するのか?」を十分に検討し、ニーズと解決すべき課題を検証するために、手動運転の低速モビリティを活用し多様なニーズを検証することを考えています。具体的にはゴルフカートでの実験を想定しているとのお話がありました。また、今後も説明会を定期的に開催し、実践しながら継続的に検討を行なっていきます。



公園でラジオ体操!

集いの場所の研究会を開催！

■未来予想図づくりでの意見を受けて

「南花台みんなの未来予想図づくりの意見交換会の中で、「ゆっくり休める場所がない」「自由に集える広場が欲しい」といった、広場や集う場所に関する意見が多数集まりました。こういった意見を受け「そもそも人が集まる場所ってどういった場所なのか?」というところから考え、最終的には人が集う場所を実践的に

デザインすることを目標にして「集いの場所の研究会」を開催しました。勉強会や公園まち歩きを開催したのち、実際の公園を使い、考えを实践していく「公園使ってみよう!」や興味のある学生が週に一回公園に常駐するなどの取り組みを行なってきました。今後も実際の場所と実践を通して南花台のまちについて考えていきます。



〇〇(まるまる)WSの様子、屋外で開催した。

石仏小学校区での活動本格スタート。

今年度は、咲く南花台の活動を周辺地域にも広げる活動を本格的にスタートさせました。まずは、継続的に地域の方の思いを聞くために、「〇〇(まるまる)WS」と「週一カフェ」を開催しました。いろいろなお話を聞くことができましたが、多くの意見は、多世代の交流の機会が少ないということでした。来年度は実践活動を通して、聞いたお話に少しでもアプローチしていきたいと思えます。

コノミヤテラスの30年度の活動

コノミヤの2階にあります!

「コノミヤテラス」は2015年10月3日に、誰もが気軽に立ち寄れる地域のコミュニティ拠点としてオープンしました!(当日コノミヤテラスに名前が決定!)住民・学生・行政・企業、... いろんな団体、人が協働で365日オープンの拠点を目指します!拠点はできたばかり、やりながらいろんなことを考えていきます!

...のほんの一部です。

30年度の咲く南花台の活動

4月	□ みんなの未来予想図全戸配布
5月	□ 生活応援社会実験スタート(以後継続) □ 「自治体総合フェア2018第10回協働まちづくり表彰」優秀賞受賞
6月	□ 集いの場所の研究会スタート
7月	□ 集いの場所の研究会まち歩き
8月	□ 南花台夏祭り参加
9月	□ 石仏小学校区での活動本格スタート 〇〇(まるまる)WS①
10月	□ コノミヤテラス部屋の利用料金変更 □ 公園使ってみよう vol.1 開催
11月	□ OOWS②(石仏小学校区) □ 週一カフェスタート □ 錦秀会看護専門学校 第一回スポーツ大会
12月	□ 咲く南花台中間報告会(市役所) □ 「南花台地区「丘の生活拠点形成」に向けたまちづくり連携協定」締結
1月	□ 小さな月イチ音楽会スタート □ 第11回地域再生センターシンポジウム『協働と継続南花台で6年...』
2月	□ 第一回近未来技術等社会実装事業 住民説明会 & 咲く南花台住民集会 □ OOWS③(石仏小学校区) □ ありがとうの会

咲く南花台って?

HPでチェックできます!
咲く南花台.com
▶ <http://nankadai.com/sac>



当日の会場の様子。満席でした。



<https://news.yamaha-motor.co.jp/2017/014599.html> より
※南花台での実装実験では7人乗りを想定しています。



#未来予想図ご意見BOX

#映画の上映会開催!

#南花台夏祭り

#通信配布メンバー交流会

#コノテラ前ベンチが人気

#南花台ゴルフカートマーケット開催

#親子イベントの開催!

#ありがとうの会

男山で協働する学生のチカラ



平成24年度から継続的に関わり続けるまちづくりも今年で5周年。この写真は毎年365日続けているラジオ体操。変わらないこと、変わっていくこともある。その時々に関わり日々考えて実践し、だんだんとまちを实らしていく。平成30年度の協働する実践をここにまとめています。

だんだん通信の作成
H26.4~



男山地域全域に10,000部届けている「だんだん通信」。今月、地域でどんなことがあるのか、どんなことが起ころうとしているか、テラスに集まる生の声などを発信しています。その積み重ねが様々な活動の支援につながったり、住民さんが地域で何かやってみるきっかけにもなっています。

やってみよう会議
H27.3~



住みたい、住み続けたい男山地域であるために、幅広い世代が集い、まちづくりについて話し合い、できることから「やってみる」を実践型の会議です。「男山地域がより住みやすくなるために自分ができること」を考え、想いを共感できるメンバーでチームを組み、協働することで多様性のある様々な活動が展開されてきました。今年は新たなメンバーも増え、試行錯誤しながらやっています。また会議もだんだんテラス・ラボでやり、通りがかった人も中を覗くなど発見があり、取り組み方も色々やっています。

だんだんテラスでの
様々な活動
H25.11~

365日オープンな「気軽に集まれる場所」として開設した「だんだんテラス」様々な人が集まり、様々な生の声が集まる場所。生の声をもとに街を考えたり、実践したりしています。



様々な人がふらっと立ち寄り
活動していると気になった人が集まったり
時には地震の時の心の拠り所にも
気軽に集まって 自然と交流が生まれます 様々な活動を後押しし 色々な使われ方がなされています！



今年こんなココロミも
467よろ~な
八幡支援学校 × だんだんテラス
H30.10~

八幡支援学校高等部の生徒が対人コミュニケーションや作業実習を学ぶ授業をだんだんテラスで行っています。

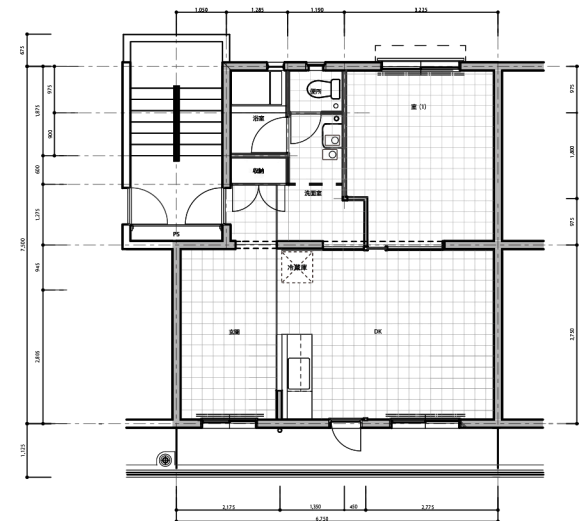




・C9-403：土間から広がる多様な住まい



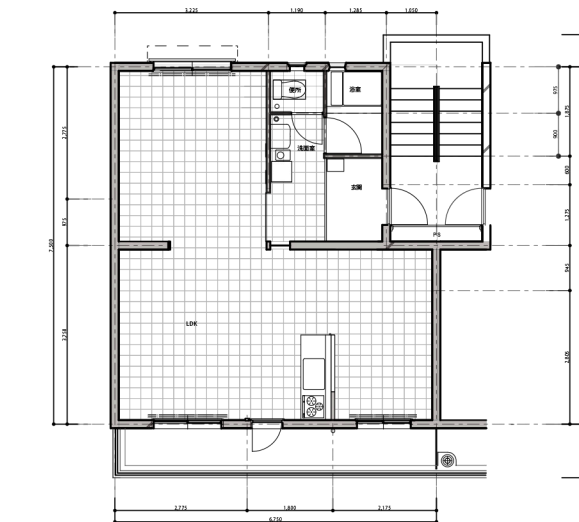
多様な使い方ができる土間空間を室内に取り込むことで、より豊かな暮らしができる部屋にリノベーションしました。例えば、人を土間に向かい入れて会話に花を咲かせたり、朝は気分を変えて土間で朝食を食べたり、暮らしに広がりを生む土間を内包した部屋になっています。



・C7-506：空と暮らす住まい



緑道に面した5階に位置し、南北方向への抜けと開放感がある、空と緑の風景を楽しむ住戸としています。ワンルームの中ではDIYによる選択性のある暮らしを目指した。玄関に半透明引き戸、南面の窓を設けることで、玄関周りを明るくしつつ、南北の抜けを拡張した。住戸外周の壁を紺でその他は白塗装で仕上げ部屋の広さを強調しています。

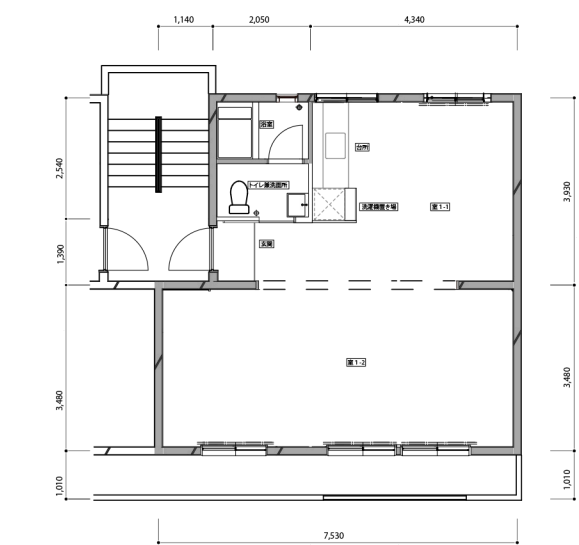


南側のバルコニー手すりは、C地区の豊かな緑が映えるように下3階は消し炭色、上2階は銀ねずみに塗装します。階段室は、玄関扉は鉄紺色でパイプスペースを白色に塗装し、モダンな仕上げとしました。中央を分断していた手すりを消し炭色で塗装し消すことで、階段室を広く見せます。

・B4-501：自分で作っていく住まい



大きな空間が確保できるようにワンルームにしています。「水回り設備が北側に集中」という条件を「間仕切り壁や押し入れの撤去」で、ほかの住戸にはない広く明るい空間を実現しました。物をどのように配置するかで自分の好きなような住まい方を作ることが出来ます。服を飾りたい・本に囲まれたいなど、自分だけの住まいを作ってください。



エントランスの周りの塗装計画は、各階段室のアクセントカラーを設定し、「自分の」住まいのある階段室として意識してもらえるようなアイデンティティを生み出すことを意図しました。また、塗り分けは3パターンありエントランスへのアプローチや緑道からの見え方によって使い分けています。

C地区鉄部塗装
 今年度は、C地区鉄部の塗装修繕周期であり、関西大学が色彩計画を行いました。「住民が住んでいる住戸の鉄部への塗装」は、施工間等も考慮したり、独特の難しさを伴うプロジェクトでしたが、何とか実施提案に至りました。完成は2019年5月予定です。
 塗装面積は小さい鉄部塗装は何に影響出来るのかを考え、「C地区が持つ緑豊かな屋外環境を活かすこと」「自分の住まいのある階段室としてアイデンティティ創出」の2つを目的としました。塗装する箇所の周辺環境を読み解き様々な色彩を適切に塗り分けることで、環境を向上させる提案となっています。
 過年度のA地区での経験やUR都市機構との密接な関係性の上で成り立ったプロジェクトなので継続の重要性を感じました。

UR都市機構と協働リノベーション住戸
 今年度は、プロジェクトの見直しがされ、「コロミタウン（C地区）での実施」と『住まい手によるセルフリノベーションを前提とした住戸提案』が新たに求められました。
 今年度の住戸は、土間やワンルームで構成されており、気持ちの良い団地の屋外空間と付き合いながら自分らしく自由に住みこなせるプランとなっています。
 また、今年度の3住戸全てに共通するのは壁面のペンキ塗装です。ペンキは誰でも簡単に塗り替えることができ、住まい手が手を入れる余地を持っています。
 また、入居者募集と同時に、だんだんラボにて既存住民向けリノベーション相談会も行います。既存住民も新規住民も、住まいに手を加え自分らしく暮らす環境づくりが望まれます。

丹波 関西大学佐治スタジオ・学生・地域の協働

モクタンバ プロジェクト **木丹波 project** ー丹波の木材活用提案ー

「丹波の豊かな森林資源をもっと身近なところで活用していけないか」という思いからこのプロジェクトが始まりました。地域の要望であったり、学生の企画を丹波の木材を使った提案・実践していきます。

○木フレームによる空間提案

木材をもっと身近に活用するために様々な場面で使いやすくすることを考えました。

木の杭をベースとして、木の丸棒を加工して、クランプでつなぎ合わせることで、簡単に木フレームを作り出すことができます。

それらを組み替えていくことで、寸法を長くしたり、木を活用したフレキシブルな空間を作り出すことができます。

軽トラ市：空き家ギャラリー



軽トラ市という氷上町中央地区のお祭りにおいて、ATACOMの活動を空き家で展示することとなり、その展示ブースに木フレームを活用して作成しました。木のフレームが空き家を拡張するように道にはみ出していくことで、空き家へ人を引き込むような空間を意識しました。また展示だけでなく、窓にフレームを取り付けることで、コーヒーショップのカウンターを作りました。それらを作ったことで空き家の新しい展示空間を提案しました。

あおがき道の駅の夕べ：ステージ制作



あおがき道の駅の夕べという地域のお祭りにおいて、地域の子供たちが発表する野外ステージを丹波の木材を活用して作りしました。背景の山、道の駅の屋根に沿う三角形をモチーフに、発表を彩るような3m×6mの木フレームのステージを提案しました。

古本市

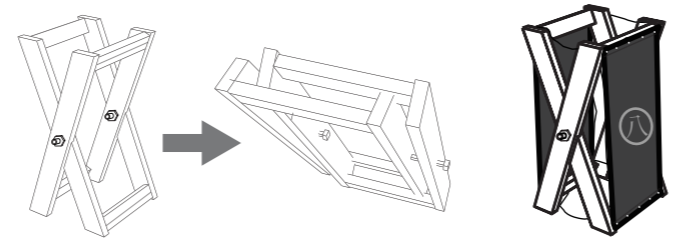
地域の古本を集めて古本市をやりたいという企画があり、町に本を置ける本棚の提案をいくつか考えました。道を挟んで両側に本棚を配置し古本に囲まれた道空間を演出しました。また、人を引き込むように内部へ入り込むL字の本棚などを設計しました。



○祭りの風景にとけこむごみ箱の制作



丹波八宿青垣の秋という秋のお祭りにおいて、風景にとけこむような、ごみ箱を丹波の木材を用いて制作しました。ごみ箱の条件として毎年使えて、コンパクトに収納できることとあったので、折りたたむことができるような構造にしました。また、お祭りの風景にとけこむようにするため、このお祭りで暖簾などに統一して使われているデザインの布を、ごみ箱にまどわせています。



空き家キャンプ ー超実践型空き家活用提案合宿ー

■主旨

平成25年度の住宅・土地家屋調査では、全国の空き家戸数は820万戸にも及ぶというデータが発表され、佐治も例外ではありません。様々な視点から問題が指摘されている空き家ですが、一方で風を通し空気を入れ替え、掃除するだけで、建物は長持ちし、町の空気も明るくなります。そこで「空き家キャンプ」というタイトルで、空き家を使いながら新たな利活用の姿を考察しました。空き家を新たな地域の資源と捉え、「潜在的なチカラ・可能性」を発見的に学ぶ取り組みです。今年3月6月8月の3回の空き家キャンプを通して空き家で生活をしながら実測調査から利活用提案までしました。

■実施場所：センバヤ



かつては薬屋さんとしてこの町に栄えていました。土間が広く、棚がたくさんあり薬屋の面影が今も残っていました。「よく来ていた！昔はこの通りに色んなお店があったのに...」という声も多く、聞きました。

3/25・26 調べる



掃除する



思い出を聞いてみる



暮らしてみる



実測する

提案を考える前に暮らしてみようと1泊2日の実測合宿を開催しました。とりあえず、この空き家を生活できるように掃除をし空気を入れ替えをしました。それだけで始めはボロボロのように感じた空き家が生き返っていきました。そして、食事や睡眠をとり、風呂はなかったのでドラム缶風呂をつくり、佐治の露天風呂で体を癒しました。2日目はどのように活用できるのかを考えながら実測調査をおこないました。

6/23・24 話を聞く



まちの人と交流する

実測したものを図面化し模型をつくってまちの人と交流会をしました。この場所にどんなものがあったらいいかを一緒に考え「カラオケが欲しい」などの意見をもらえました。また、昔はどのように使われていたかなどの話を聞くことが出来ました。

提案してみる

8/12 提案する



最終提案は今まで聞いてきた話を各々が考え、話し合いひとつの活用提案として8月に佐治倶楽部が主催する「大人のための夏祭り」の日に町の人に発表をしました。提案は真ん中に大きなキッチンをつけ、人を迎え入れるようにしました。また、そこは色々な人の活動が広がるような作業台にもなります。狭く感じる空間を土間と色を使うことによってその狭さを感じさせないような提案にしました。土間には長いベンチを設け、その下に収納が出来るようになっています。現在もこの空き家に残っている大きな鏡をベンチの横に置くことでベンチが長く見え空間を広く見せるようにしています。町の情報を掲載したり、子ども達が遊べるように黒板を壁一面に設置しています。



ATACOM 9



テーマ：カケコム

今まで関わりのなかったことと ATACOM を「掛け」合わせて挑戦する。新たな ATACOM の可能性を見出し、10 年目への橋を「架け」る。そこに向かってみんなで協力し、「駆け」出していく。

考える

過去最大の参加人数 32 人となった ATACOM 9 では、活動テーマを決める段階から、参加学生全員で会議を重ねていきました。テーマが決まれば、上回生の経験者をリーダーとして、審査会に向けてチームに分かれてツクリモノの提案を考えました。



みんなで作るツクリモノ

ツクリモノによってさまざまな関係性が化けることを意図し「化ける、かける、ツクリモノ」というツクリモノテーマに基づいた 10 作品が審査会に出揃いました。その中から、「折り鶴一式」でつくる「神龍（シェンロン）」が投票によって選ばれました。例年以上に材料を集めるのが困難なうえ、3 万羽という膨大な数の折り鶴が必要でした。かつてないほど多くの人に協力していただき、メンバー自身が ATACOM の活動を説明する中で、ATACOM の認知度が広がった年でもありました。



審査会の様子

スタディ風景

各拠点でも折り鶴を折っていただきました。

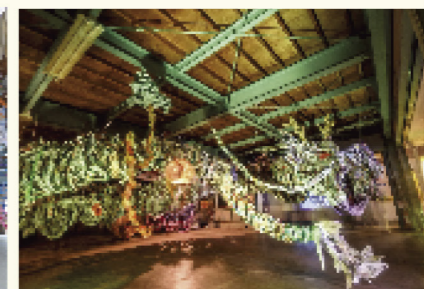


ライトアップされた神龍

多くの方々の思いを乗せて、約 2 万 6 千羽の折り鶴を使用した全長 25 メートルの神龍が完成しました。訪れた人からは年々クオリティが上がっているとの声をいただきました。困難が多かった分、様々な方々の支えを実感したツクリモノになりました。



全長約 25m



みんなで作ろう！

ワクワクつくりもの

今年から新たに始まった活動の一つとして、「みんなで作ろう！ワクワクつくりもの」があります。ATACOM のツクリモノでもなく、まちの造り物でもない、地域の方々、子供たち、学生様々人が関わってできる「みんなのつくりもの」になることを目指しました。



地域の小中高校生と風車をつくる

完成した「風車一式」の「帆船」

“CHATTA”

「ちゃった（～している）があふれるまち」にしよう！

地域有志の方々、ATACOM 参加学生、関西大学佐治スタジオスタッフで地域の空き家について実践を通して考えていくチームとして発足しました。〈1. チャレンジの拠点、2. 商いの拠点、3. 学生の拠点〉の 3 本柱を指針にしながら、地域全体の環境が良くなることを考えてきます。



月に一度の会議

篠山市福住のまちを視察



地域のイベント「軽トラ市」で空き家を活用して、ワークショップや展示などを行いました。

地域の方と忘年会

活動日程

- ・現地見学 6/17
- ・審査会 8/4
- ・制作合宿 8/17-25
- ・愛宕祭 8/23,24
- ・秋祭り 10/6
- ・軽トラ市 11/18, 3/17
- ・忘年会 12/8
- ・CHATTA 会議 毎月

関わり続ける定住のカタチによる結の故郷づくり

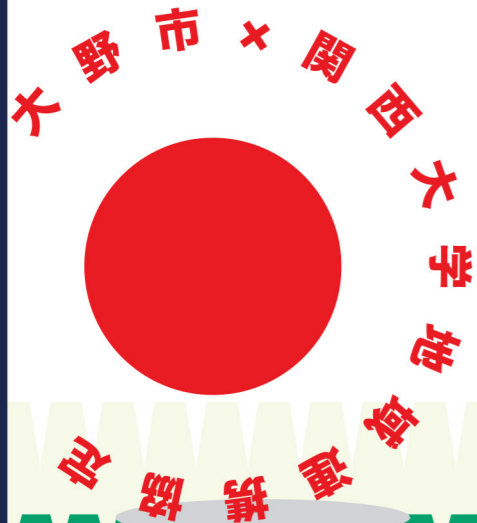


横町スタジオ



大野に寄り添い、大野に住まうことの豊かさを考える。

大野での実践は二年目。何度も足を運び、多くの大野人と関わる中で見えてきた、大野に寄り添って住まう大野人の優しさと強さ。横町スタジオも、そのような優しさと強さを感じる居場所づくりを目指し、活動をしました。偶然の出会い、生きる力、つくること、寄り添うこと... 大野人の住まう力と知恵と経験に耳を傾け、『大野だからこそできる地域拠点』のあり方を、実践する中で模索した一年でした。



4月 新年度横町スタジオ交流会！
地域の方を招いて、顔合わせ！

5月 スタジオリノベ。
古くなった庇を撤去
するとすっきりした！



6月 横町町内会BBQに参加！
肉を食べて地域との
関係づくり！

大野の城祭り。大野音頭をみんなで踊ると楽しい。



7月 横町スタジオで初めて
1週間以上の滞在。
生活する上で困ることは
ないか確認。



8月 スタジオリノベ。
暖簾をつける。
風に揺られて涼しげ！



9月 外を使うと、
地域の方が声を
かけてくれる

10月 産業と食彩フェアにて
地元『触れる』をテーマに
大野の木を使った
お箸づくりWSを実施！



11月 11月の大野。里芋の収穫と
大野の美しい風景。
これぞ大野！



12月 端材で卓球台を制作。
地域の方が『ちょいラリー』
をしに、遊びに来る。



お茶を飲みながら、楽しくおしゃべり。
大野の人は、大野のどんなところが好きなんだろう。



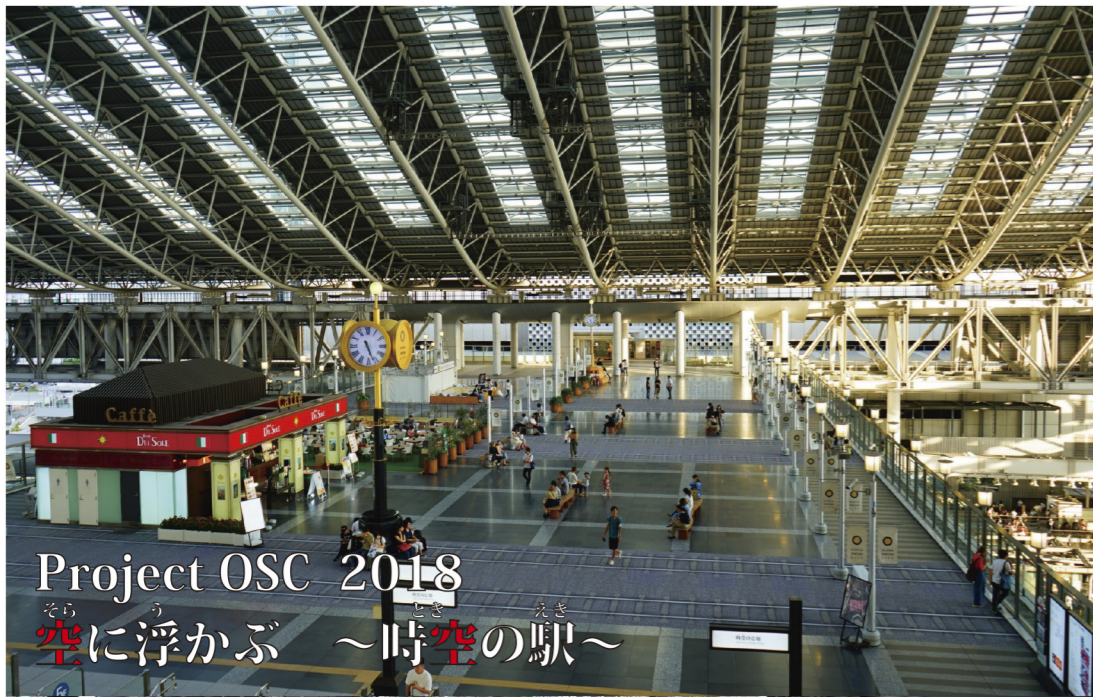
1月 大野の寒い冬。
こたつに集って、月に一回の
『横町城下町お茶会』
開始！



2月 大野の職人さんと住民さんとで
作り上げた、
小さな『舟』
もちろん
大野産の杉で！



3月



Project OSC 2018

空に浮かぶ ~時空の駅~



空に浮かぶ

時空の駅

Project OSC

関西大学建築環境デザイン研究室 × 武庫川女子大学

2018.8.31(Thu) ~ 9.02(Sun)

All Days
12:00-14:00 じおりWS
16:00-18:00 パスケースWS

参加費無料！
誰でもお気軽にご参加ください。

大阪ステーションシティ3F
時空の広場にて

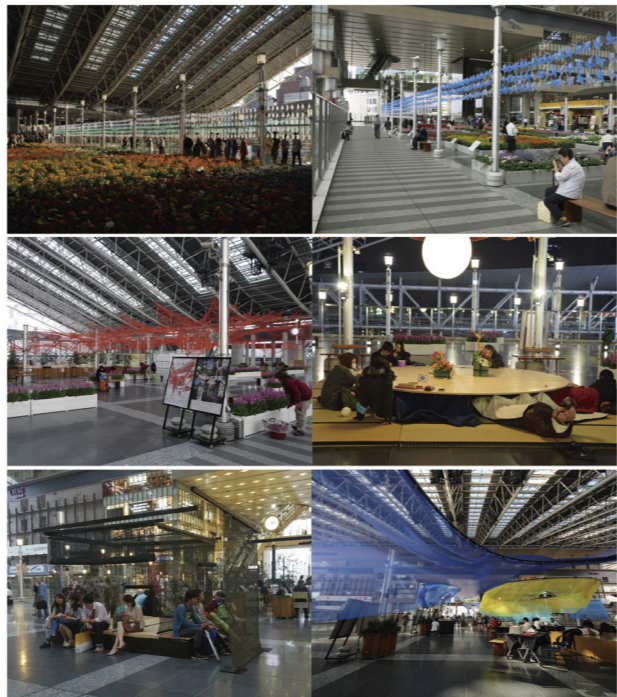
関西大学建築環境デザイン研究室 武庫川女子大学

Project OSC

大阪ステーションシティは JR 大阪駅を含む複合施設であり、駅、道、広場、店舗などそれぞれ3次元的に重なり合って計画されています。ProjectOSCはOSCの魅力を発見・提案し、感動を与えていく「あたらしいまちの風景」を作り出していくために、時空の広場で広場空間活用の提案・実施活動を行なっています。

今年度の提案

今年度の提案では、「駅上の広場」をコンセプトに広場下にある駅の線路を等身大・そのままの場所で時空の広場に転写し、広場全体が駅上であることをより感じさせる仕掛けを行いました。線路を敷くことで、東西方向への動きも誘発させ、時空の広場から見える線路や周りの景色を楽しむとともに”この広場が駅の上にある”という最大のポテンシャルを強調しました。



時空の広場でおこなってきた実施提案

周辺関係を大きく捉える提案

時空の広場が駅上であることをより感じてもらうために提案した線路案は、時空の広場の日常的魅力を発信する提案となり、時空の広場であるからこそその魅力と風景を生み出しました。



様々な人々を巻き込み広場を使う

関西大学の学生だけでなく、武庫川女子大学の学生、管理会社である大阪ターミナルビル株式会社と共に協働し分野横断的に関わり合うことで提案の内容も充実させています。



実現までの道のり

2月5日	4月22日	4月23日	5月17日	5月20日	6月10日	6月22日	7月6日	8月30日	9月6日	12月7日	
プロジェクトスタート	顔合わせ&まちあるき	自己紹介	現地で話す	現地でお話会	1人1案	模型・図面での計画	モックアップ検討会	反省点を改善 製作	朝6時半~19時半 総勢28人で線路を敷く	撤収	報告会
			1人1案	問題点の共有	コンセプトを決める	線路を等身大再現	駅上だと感じているのかな?	いざ搬入	線路をひたすら剥がす	1年間お疲れ様でした!!	



“木のある暮らし”

今年折りたたみ式の木製の椅子作りワークショップを行い、木のある暮らしの実現を目指しました。ワークショップには主に親子連れが参加し、家族分の椅子を作る方や子供のために椅子を作る人など、とにかく楽しそうに作っているのが印象的でした。雨天のため、急遽室内での開催となりましたが、多くの方が参加されました。河内長野市の農林課の方々には、おおさか河内材のPRブースを設け、堺市民にPRしました。



自分で材料を選び、自分で組み立てます。



雨天のため急遽屋根の下へ移動となりましたが、臨機応変に対応し開催できました。



月に一度のガシ横マーケット！



これまでの堺の取り組みをPR！

“ガシ横マーケットとの連携”

昨年度に引き続き、ガシ横マーケットにも出店し、取り組みのPRを行いました。広場のときは少し異なった場所で、木材の柔らかな雰囲気がマーケットに彩りを与えていました。

堺市市民交流広場活用プロジェクト

タンバが堺にやってくる

Mina さかいでアウトドア気分
2018.8.25
vol.3
2018.10.6
※荒天の為中止
vol.4
2019.3.17

今年度も、継続して堺市市民交流広場の活用を通じた地域間の交流を生み出しました。建築環境デザイン研究室が活動フィールドとしている地域の方々とのつながりを活かし、「豊かな食と木のある暮らし」をテーマに丹波市、堺市、河内長野市をつなぐ機会として「タンバが堺にやってくる」を開催。丹波からは野菜や木材を持ち寄り、河内長野市からは、木材とそれを使ったワークショップを行い、地域間の人的・物的交流の機会を作り出しました。

今年度の新しい取り組み

“コミュニティ界隈楽屋ニュース”

コワーキングスペースLRで行われている「コミュニティ界隈楽屋ニュース」。月一回、コミュニティデザインやまちづくりなどに関わるゲストに迎え、ガシ横の食べ物を囲みながら、ざっくばらんにお話する場です。広場やオープンスペースをどうやって楽しく自分たちで使うかについて、参加者の方々と議論し、具体的な実践に繋がりたいとの思いで、楽しい意見交換を行いました。



コミュニティ界隈楽屋ニュースの様子



丹波の豊かな食材が並びました。

“豊かな食を通じた地域間交流”

盆地気候で寒暖の差が激しい丹波には、おいしい野菜や果物、お米がたくさんあります。それらの食材とそれらを使ったピザ等を広場で販売し、小さなマルシェのように展開しました。訪れた方々とコミュニケーションをとり、丹波の食材の良さを直接伝えることができているのが印象的でした。また丹波出身で現在堺市民だという方も多くおり、自身の地元の活動に喜んでおられる方もたくさんおられました。



みんなで記念写真！



きっかけとなるシエナの写真



天気も良く大好評でした！

“シエナの長い机”

楽屋ニュースでのイタリア・シエナの写真がきっかけとなり、地元の方々が企画し、お祭りの中で、実験的に「一つのなが〜いテーブル」を設置することになりました。向かい行くには40m近くぐるりと回らねばならないのに、苦情もなく自主的にイスを貸し借りしあったり…。写真から伝わってくるのは、都会のイベントという感じでなく、近所に住む老若男女が三々五々集まりみんなでワイワイ食卓を囲んでいる空気感。こんなふうには、自然と人が集まる風景、今そこにはないけど昔からあったような場所って魅力的だなと改めて感じました！

2018年度の活動における協働者・団体

【咲っく南花台】

- 河内長野市
 - 谷ノ上浩久、二宮達治、槌野貴公、藤田晃正、土井哲、浦田尚代、吉富裕子、松見和弥、藤本将史、芝華菜子
- 大阪府/金森佳津、佐久敬一、河瀬庸平、田辺博
- UR都市機構/長谷川寛、鈴木維子、山本真也
- 特定非営利活動法人/SEIN/宝楽陸寛、甚田知世
- atelier NOAHNOOR/天川麻子
- 株式会社コノミヤ
- 医療法人永広会 島田病院
- 河内長野市社会福祉協議会/土橋崇之、堀井
- 株式会社アーバンリパース/太田隆司
- うのの建築事務所/野々山稔
- 株式会社 三弘建築事務所/池田裕彦、岩本磨生
- 関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト
 - 江川直樹、菊田純一、安原秀、三谷幸司
- 一般社団法人カンデ/辻村修太郎
- 関西大学建築環境デザイン研究室
- 関西大学住環境デザイン研究室
- 関西大学社会学部教授/与謝野有紀、林直保子
- 関西大学佐治スタジオ/出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗
- 錦秀会看護専門学校
- 大阪大谷大学
- 咲っく南花台事業者の会
- 南花台自治会のみなさま
- UR南花台自治会のみなさま
- 南花台まちづくり会のみなさま
- 南花台自治協議会のみなさま
- 南花台中学校区青少年健全育成会のみなさま
- 南花台防犯ステーションのみなさま
- たくさんの南花台住民のみなさま

【堺市プロジェクト】

- 開催日：2018年8月17日
- 2019年3月17日
- 建築環境デザイン研究室
 - 森岡永遠、中井紘之、丹羽健斗
- 住環境デザイン研究室
 - 中村穂希、長峯佳代
- 堺市都心まちづくり課
- 河内長野市農林課
- 河内長野市林業総合センター「木根館（さんこんかん）」
- おおさか河内材販売促進協議会
- 関西大学佐治スタジオ/出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗
- 佐治倶楽部+ソシエテ・リベルテ(丹波市)
- 一般社団法人カンデ
- NPO法人SEIN / 宝楽陸寛
- 堺まちクリエイト株式会社/矢本憲久
- 堺まちづくり株式会社/中脇健児
- 南花台のママさんたち

【横町スタジオ】

- 大野市　結の故郷創生室、商工観光振興課、農業林業振興課、防災防犯課、地域おこし協力隊
 - 大野市商工会議所
 - 株式会社電通
 - 浦山工業有限公司
 - 株式会社中保屋電気商会
 - 株式会社中川設備
 - 九頭龍設備株式会社
 - モモンガコーヒー
 - 有限会社伊藤文具店
 - CROP
 - 工房ロコ
 - 有限会社サシオカトーヨー住器
 - 福井県奥越農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課
 - 株式会社明倫舎建築事務所
 - 荒島社
 - 大野ロータリークラブ
 - うのの建築事務所/野々山稔
 - 提案部会　安原秀、三谷幸司
 - 関西大学環境都市工学部
 - 都市システム工学科　楠見晴重、北詰恵一
 - 建築学科　江川直樹、岡絵理子
 - 関西大学建築環境デザイン研究室
 - 関西大学住環境デザイン研究室
 - 関西大学佐治スタジオ/出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗
 - だんだんテラス/辻村修太郎
 - 関西大学 学生生活支援グループ
 - 佐治倶楽部
 - 川瀬幸男
 - 横町町内会の皆さま
 - 五番商店街の皆さま
 - 七間朝市の皆さま
 - 福井県猟友会大野支部の皆さま
 - 地酒場の皆さま
 - HASHUの皆さま
 - 東京 9 1 2 の皆さま
 - 東京大学文化人類学研究室/北川真紀
 - たくさんの大野人の皆さま

【Project OSC「空に浮かぶ～時空の駅～」】

- 関西大学建築環境デザイン研究室　江川直樹
 - 森岡永遠、Oh.Jongmin、横山哲也、宮森祐允、中井紘之、浜田千種、三浦紋人、谷直輝
 - 富江満貴、好田一貴、田中凌平、國江咲帆、丹羽健斗、藤居省伍、京極景子、堀智哉
- 関西大学建築計画第一研究室　大影佳史
 - 野村卓史、松田沙稀
- 住環境デザイン研究室
 - 中村穂希、長峯佳代、植田浩生
- 関西大学設営手伝い
 - 宗安勇輝、破田野雄己、中野創策
- 武庫川女子大学　大坪明教授
 - 荒木裕佳、鎌倉あいり、鍋坂向日葵、森谷友香
 - 秋澤宏香、池田純奈、澤章乃、西尾陽香、西垣星奈、山田萌子、山野愛
 - 後藤田葵、小林美汀香
- 大阪ターミナルビル株式会社
 - 企画部　：中西秀樹(常務取締役企画部長)、山本慎一、岡前佳具
 - 営業部　：伊藤俊司、古田直也
 - 施設部　：薄田勝典
 - 安全企画部:中村勝、馬木和重
- 大阪北消防署
- 防災クロス提供
- 株式会社真善美

【佐治スタジオ】

—ATACOM9—

- 関西大学・丹波市連携事業推進協議会・中央地区のみなさま
- 関西大学佐治スタジオ
 - デイサービス不知庵
 - 出町慎、出町綾、植地惇、関谷大志朗・折り鶴提供協力
- 関西大学環境都市工学部建築学科
 - 男山 / 南花台 / 大野のみなさま、井戸澤亮介、江馬良祐、川尻晴菜、後藤奏真、堀木京香、足立祐花、上野ゆうか、梶原佑介、川平真実、木村聡史、櫻井彩乃、中島魁、村上貴菜、松岡桜子、山内恵生子、岡村崇志、破田野雄己、宗安勇輝
- LEM 空間工房代表 / 長町志穂
- 丹波市役所有志（浴衣の提供）
- 土井恵介（造り物会場の提供）
- 愛宕祭実行委員会
- 成松造り物保存会
- 中央地区自治振興会
- 成松ロイヤルクラブ
- 丹波市立休養施設　やすら樹
- 地域の造り物の先人のみなさま
- 県立氷上西高校
- 丹波市立氷上中学校
- 丹波市立中央小学校
- 関西大学環境都市工学部
 - ATACOM メンバーの家族、友人
 - 関西大学環境都市工学部　建築学科　教授　江川直樹
 - 関西大学建築環境デザイン研究室　京極景子、藤居省伍、國江咲帆、田中凌平、富江満貴
- 関西大学住環境デザイン研究室
 - 中村穂希、矢吹優明
- 関西大学建築計画第一研究室
 - 松田沙稀
- 摂南大学
 - 木根康平、小林巧、橘駿介、春山奈津樹
- 武庫川女子大学
 - 後藤田葵、小林美汀香
- ツクリモノ制作お手伝い
 - 阪井勇樹、京極晴子、小林恵里花

—木丹波プロジェクト—

- 関西大学建築環境デザイン研究室
 - 藤居省伍、田中凌平、京極景子、富江満貴
- 関西大学住環境デザイン研究室
 - 中村穂希、矢吹優明、永木純平
- イクジウッド株式会社/ 足立成人
- 佐治倶楽部のみなさま
- 県立氷上西高校のみなさま
 - 県立氷上西高校まちづくり部
- 丹波市商工会のみなさま
 - 丹波市にお住いのみなさま
- 佐治自治協議会のみなさま
 - 佐治の自治会のみなさま
- 丹波市役所建設部住まいづくり課のみなさま
- あおがき灯りのタベ実行委員会のみなさま
- 丹波八宿青垣の秋実行委員会のみなさま
- 関西大学・丹波市連携事業推進協議会

—空き家キャンプ—

- 関西大学建築環境デザイン研究室
 - 田中凌平、國江咲帆、京極景子、富江満貴
- 関西大学環境都市工学部建築学科
 - 江馬良祐、川尻晴菜、三上秀大、木村聡史、櫻井彩乃、足立祐花、松岡桜子
- センバヤオーナー / 外島淳子
- 佐治倶楽部のみなさま
- 中町自治会のみなさま
- 関西大学・丹波市連携事業推進協議会
- 佐治自治協議会のみなさま

【そして、ここに書ききれない見守ってくださったたくさんの方々】

【男山団地】

—だんだんテラス—

- 関西大学団地再編プロジェクト
- 関西大学佐治スタジオ
 - 出町慎、関谷大志朗、植地惇
- 辻村修太郎(地域コーディネーター)
- 独立行政法人都市再生機構
 - UR 都市機構 DIY部
- 京都府
 - 八幡市
- 男山中央センター商店会
 - UR 男山団地自治会(A.B八望)
- 八幡の歴史を探究する会
 - 八幡地域猫を考える会
- NPO法人八幡たけくらぶ
 - 京都八幡高校
- 男山第2中学校
 - 男山児童センター
- 八幡支援学校
 - 学校支援地域本部
- おひさまテラス
 - 穂の時間
- 男山やってみよう会議メンバー
 - だんだんテラス利用者のみなさま
- 地域包括ケア複合施設YMBT
 - タイムズ 24
- 永和建設
 - トップデンハウス
- 社会教育委員

—だんだんラボ—

- 関西大学団地再編プロジェクト
 - 提案部会のみなさん
- 木村工務店
- 関西大学建築環境デザイン研究室のみなさん
- 辻村修太郎(地域コーディネーター)
- 独立行政法人都市再生機構
 - 京都府建築士会青年部会のみなさん
- 男山中央センター商店会
 - 綿貫
- 手作り市メンバー
 - 中西、浮田、池田、吉田
- 京都府立八幡支援学校
 - おもちゃ病院八幡

—住戸改修—

- 辻村修太郎(地域コーディネーター)
- 建築環境デザイン研究室
 - M 2：横山哲也、宮森祐允　M 1：東浦隆介、中井紘之、浜田千種
 - B 4　：富江満貴、好田一貴
- 建築計画第1研究室
 - B 4：松田みなみ、松田沙稀
- KSDP 提案部会
 - 江川直樹(建築学科 教授)、野村正晴(建築学科 助教)、安原秀(OLA の会)、三谷幸司(三谷都市建築設計室)、菊田純一(菊田建築計画研究所)
- ワイズ CONSTRUCT OFFICE
 - 独立行政法人都市再生機構

—C地区鉄部塗装—

- 辻村修太郎(地域コーディネーター)
- 建築環境デザイン研究室
 - M 2：横山哲也、宮森祐允　M 1：浜田千種、東浦隆介、三浦紋人
 - B 4　：國江咲帆、富江満貴、丹羽健斗、田中凌平
- KSDP 提案部会
 - 江川直樹(建築学科 教授)、野村正晴(建築学科 助教)、安原秀(OLA の会)、三谷幸司(三谷都市建築設計室)、菊田純一(菊田建築計画研究所)
- 独立行政法人都市再生機構
 - NPO法人ホームズビー
- 京都府建築士会
 - 日本建築家協会近畿支部